

# 耳を傾ける人間

——音楽体験の本質——

アーミン・フーゼマン 著 本田常雄 訳



Armin J. Husemann (アーミン・J・フーゼマン)

1950年生まれ。1993年よりオイゲン・コリスコ・アカデミー代表、講師を務める。ドイツの国内および国外にて、数多くの講演、ゼミナールを行っている。

広瀬俊雄「出版に寄せて」収録

A5版フランス装 本文160頁

2800円+税 ISBN978-4-903865-40-9

ARMIN J. HUSEMANN

“Der hörende Mensch und die Wirklichkeit der Musik”

シュタイナーによれば、音楽の体験は「呼吸のリズムが聴覚器官の内部まで伝わり、…神経プロセスと出会う」ことで生じる。

本書は、聴くことといのちの世界とのふれあいを描く待望の名著。

\*

脳脊髄液の形成と流れの中で、アストラル体と自我は、エーテル体とともに物質体から切り離されます。このプロセスは、人間が死の境を超える時、人間全体でラディカルに行われます。ここにこそ「生命のただ中にある死」の秘密が隠されています。私たちは、…創造的な造形力の体験を、この秘密に負っています。ゲートは生涯に亘り、この造形的なファンタジーの力を有機的世界の生命を認識するための器官に進化させるべく、修練を続けました。

……耳の感覚受容器が、液体で満たされた内耳の中でのみ、音の作用に参加できるという事実は、私たちが耳を通して、音を物質的な世界の中で知覚するのではなく、生命あふれるエーテル的な世界の中で知覚するということを、暗に伝えている。

呼吸プロセスの中の音楽体験とは、エーテル体の体験であり、物質体の感覚——神経プロセスを必須の前提とする。

こうして音楽が、感覚世界と霊的世界との橋渡しとなる……

(本文より)

☆ 既刊書：好評につき増刷



## 子どもの歯の生え変わり 魂の発達を映し出す鏡

アーミン・J・フーゼマン著 本田常雄 訳

A5フランス装 160頁 2700円+税 ISBN 978-4-903865-35-5

本書は、アントロポソフィー医学と教育学の観点から見た、子どもの歯の生え変わりに関する初めての包括的な研究です。著者は、歯の生え変わりに隠された音楽的な法則を明らかにすることで、歯の生き生きとした解剖学から、子どもの魂の発達への橋渡しを行います。本書では、音楽は教育心理学を理解するための研究方法に位置づけられます。平易な文章で語られる本書を通じ、教育者、治療者、医師、そして親は、驚くべき発見の旅へと誘われるに違いありません。

\*

ゲート=シュタイナー的科学的を基に歯の生え変わりの秘密を明示する、画期的な名著

株式会社 涼風書林

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 1-14-16

Tel/Fax 03-3710-5160

URL : <http://www.kirisutoshakyodotai.org/ryofu.html>

E-Mail : [ryofu@kirisutoshakyodotai.org](mailto:ryofu@kirisutoshakyodotai.org)

涼風スペース : <http://ryofu-shorin.jimdo.com>

郵便振替口座 : 00180-1-356521